

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 川島

会議名: 令和4年度 第6回守山学区まるごと活性化プラン A プロジェクト会議

日時: 令和5年3月 18 日(土) 午前 10 時から

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 井上代表、杉本、竹村、山田、林、十河、余川

守山会館: 川上、川島

使用資料: 事前アンケート実施報告、参加者アンケート実施報告、意見取りまとめ、各委嘱委員のあり方検討状況について等

議題

1. わがまちミーティング
2. 自治会の課題解決に向けた検討
3. 来年度の取組について

会議要旨

内容

1. わがまちミーティング

①事前アンケート結果について

- ・災害時のために地域のつながりが必要だと考えている人が多いが、実際に災害が起こった時、今の状態では難しい。
- ・このアンケートをどこまで学区内の市民の総意ととらえるか、信ぴょう性はどうか。
⇒統計学的にはある程度信頼できると思うが、集計結果の冒頭に無作為抽出の 1,550 人のうち 327 件の回答による結果であることを表記した方が良い。

②参加者アンケートについて

- ・グラフの値と割合をもう少し見やすく（件、%の併記等）。

③その他全体について

- ・グループにいた若い人から「自治会活動に参加したいけど、参加の仕方がわからない。清掃活動など大学生に声をかければ、ボランティアとして手伝ってくれる人は多くいると思う」といった意見を聞き、意外だった。
- ・情報発信が弱いという意見があったが、具体的な手段などもう少し具体的な意見が出ると良い。

2. 自治会の課題解決に向けた検討

(1) 各委員のあり方検討状況について（事務局より説明）

- ・意見まとめの表について、レイアウトを変えてもう少し見やすく作り直すように。
「〇〇の課題は△△にしてください」というような形式がわかりやすいのでは？
- ・ゆるく活動することが肝要だと思うが、体質的なものなので各団体の努力が必要。
- ・自治会にも個性があるように自治会長の考え方もあるのでは。
- ・案内などで「必ず参加してください」ではなく、「参加できる人は参加してください」という書き方にすると、受け手も少し気が楽になるのでは。
- ・民生委員の本来業務とは何か。
- ・前任と同じようにやらなければと思うと大変になってしまう。

- ・市社協と懇談する必要がある。
- ・民生委員が市社協の「目」「耳」となっている。
- ・「目」となるのは負担が少ないが「耳」になるのは精神的にも負担が大きい。
- ・どこまで目や耳になるかどうかは民生委員の自己判断で良いと思う。
- ・やはり一番大切なのは近所のつながり。独居の方などは近所の人が見守りの役目を果たす。
- ・プロジェクト会議内だけで終わらせないように、関係機関へ伝えることが大切。
- ・「福祉」とは、「ボランティア」とは。
- ・一番大切な理念や目的が飛んで、手段だけがつないである状態。

3. 来年度の取組について

- ・まるごと活性化が10年を迎え、本プロジェクトについても一区切りとしたい。
- ・わがまちミーティングは来年度も行う。
- ・あり方検討については提言書を関係機関に提出することを目的としたい。

決定事項	・次回会議 5月20日（土）午前10時から
次回以降について	・令和5年度の計画について